

---

# 始まりの人形

BOY&GIRL

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

始まりの人形

### 【Nコード】

N9377Z

### 【作者名】

BOY & GIRL

### 【あらすじ】

主人公は人形。始まりの魔法使いによって創られた始まりの人形。本来は登場しない彼の出現により物語は変わって行く。そして彼の出現により変わった世界に現れる転生者。どうなる主人公。どうなる転生者たち。そして本当にどうなるかは作者すら知らない！

## プロローグ（前書き）

素人の作品でよかったら見てください

## プロローグ

理不尽

その言葉が真に發揮されるのは今だと俺は思った

「全く……少年は中々あきらめないね」

そんな何処か退屈そうに聞こえる言葉が耳に届くと同時に、俺の体は宙を舞う

だが、俺の体が宙に舞っている今もなお、理不尽は続く

「いい加減諦めてくれると私の手間も省けるのだがね」

視界が突如反転する

今まで見てきた世界が急に変わった事に、俺は少し戸惑いを感じたけれど、そんな戸惑いは何時までも続かない

空の代わりに大地が見える

そしてドンドン大地が近づいてくる

いや、近づいているのは大地じゃない

俺だ

「おや、まだ死んでないのか？最初と比べると随分頑丈になってきたじゃないか、少年」

痛い

そんな感覚は既に俺の中にはない

いや、探せば見つかるかもしれない

けれど今はそんな感覚をさがす暇も余裕も気力もない

「まあそのまま死なすのは惜しいな……。燃える」

俺の視界が真っ赤に燃える

視界に映る俺の体が紅蓮の炎に燃える

俺にはこの炎をどうにかする手立てがないので、ただ俺は傍観する  
それにどうせ俺が死んでも……

「ん？もう死んだのか……。ほら少年起きろ。続けるぞ」

そう、この通り

男が手を振るだけで俺は生き返る

「いや、少年。生き返るのではない。これは作り替えているのだよ」

……作り替える？

何を？

「おお！やっと私の言葉が届くまでに達したか！いやはや、十中八九墮ちるのが先だと私は思っていたがよもや先に聞こえるようになるとは……。これで物語も少しは盛り上がるというものだ！」

墮ちる？

物語？

盛り上がる？

お前は何を

「おっと、興奮しすぎてつい頭を潰してしまった。これでは会話も  
できんな……」

言ってるんだ

「ん？少年は忘れたのか？」

「忘れた？」

「何を？」

「あー少しやりすぎたか……まあいいか。これはこれでありだ。さてさて少年、君が今この理不尽だと思っているこの状況から抜け出せるチャンスをお前にあげよう。おっと別に拒否しても構わないが、その時は今度死ぬときに体だけではなく魂まで殺してあげよう」

「……受けよう、そのチャ

「態度がでかくなりすぎていて、少年。いくら位が上がろうと君は所詮人間。私に意見はもと、上から目線で語り掛けてくるとは……また死にたいのか？……？……ああすまん。既に死んでいるか。そら戻れ」

ンス

「了解した。さて、それではさらばだ少年。出来る限り私を楽しませてくれよ」

「楽しませなきゃ何が起こるんだ？」

「何、死ぬだけだ」

「……出来る限り、頑張ってみるよ」

「ふ……。じゃあな少年。哀れな生贄。私の所有物」

ああ、  
じゃあな  
神様

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9377z/>

---

始まりの人形

2011年12月29日11時48分発行